

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス こころね

## 支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

31 日

法人（事業所）理念		寄り添い、共感し、向き合うことで人々の心の健康や生活をサポートする。								
支援方針		楽しい遊びの中で、できること・やりたいことをたくさん発見してもらい、達成感・自己肯定感を高める療育を提供する。困り事が軽くなるよう「一緒に」見つけ、「一緒に」考え、「一緒に」成長していく。嬉しい・楽しいと感じた出来事を経て、自発的・積極的に活動できる、また、将来その体験や学びを生かせるよう未来への懸け橋となる。								
営業時間		10 時	00 分	から	19 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の安定を促し、日常生活を送るために必要な能力の向上を目指す。</li> <li>・体温測定や排泄状況を見て、日々健康状態をチェックする。</li> <li>・身だしなみやエチケット、片付けや整理整頓など、清潔保持にも着目する。</li> </ul>								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内でも可能な運動（平均台・トランポリン・トンネルくぐりなどを組み合わせたサーキット運動）を取り入れ、粗大運動能力の発達を促す。</li> <li>・クッキングや制作活動を通して、巧緻性の発達を促す。</li> <li>・将来的な自立を目標に掲げ、生活場面に則した身体の動かし方や力加減を教示する。</li> </ul>								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びやゲームを通して、ルールの理解力を高める。</li> <li>・クッキングや制作活動を通して、手順や工程を意識した行動を促す。</li> <li>・散歩や公園遊び、買い物などの課外活動を実施し、交通ルールや公共マナーを学ぶ。</li> </ul>								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言や意見交換の機会を設け、自己表現力・他者理解力を促す。</li> <li>・感情を言語化し、他者に伝える能力の向上を目指す。</li> <li>・衝動的な行動に至る前に一度思考し、言葉によって表現・伝達することを優先できるように支援する。</li> </ul>								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びやゲームの中でチームワークの大切さを学び、一体感を得られるような活動を行う。</li> <li>・相手や場面によって適切な言葉遣いができるよう、敬語（丁寧語）を学習する時間を設ける。</li> <li>・同年代の児童に限った関係性にならないよう、幅広い年齢・学年の児童、また職員と積極的に接することができる環境を整える。</li> </ul>								
家族支援		家族との面談を実施し、情報交換する機会を設ける。必要に応じて児童や家族の心配事に関して相談・助言・援助する。				移行支援		未就学から就学、小学校から中学校への進学といった生活上の様々な出来事により起こりうる変化に対して、児童や家族の意向を第一にしつつ、継続性を確保・維持できるよう途切れることのない支援を行う。		
地域支援・地域連携		支援について共通した認識がもてるよう、他事業所・相談支援事業所、自治体の支援課と情報を共有し、連携を図る。				職員の質の向上		定期的な社内研修を実施し、外部研修にも積極的に参加する。偏りや不揃いがなく一貫した支援を心がけるため、随時職員間でケース相談を行い意思を統一する。		
主な行事等		季節行事、防災訓練、誕生日会、映画観賞会								